

実績

調査・研究、地域活動

- 1998年 河北潟自然観察会開始
河北潟干拓地水辺ビオトープ造成と経過調査(～2003年)
- 1999年 河北潟将来構想作成
河北潟周辺の水生生物調査
- 2000年 河北潟周辺の生物調査(～2001年)
南京莫愁湖において生態系調査(～2001年)
ミサゴ営巣状況調査(継続中)
- 2002年 河北潟自然再生協議会発足に参加
河北潟西部承水路調査(継続中)
- 2005年 チクゴスズメノヒエ調査および除草試行実験
- 2006年 河北潟干拓地生態調査(継続中)
- 2007年 河北潟地区外来植物対応方策検討会に参加
- 2008年 河北潟植物相調査
- 2009年 金沢市こなん水辺公園自然解説員開始
- 2010年 河北潟、柴山潟、木場潟の植生調査および植生評価マップ作成
チクゴスズメノヒエ堆肥性能実験
- 2011年 ハッタミズ分布調査
チクゴスズメノヒエ堆肥を利用した野菜「すずめ野菜」の生産販売開始
河北潟セミナー開始
- 2012年 協働の米作り開始
水田の生物多様性に関する調査開始

刊行物

- 河北潟湖沼研究所機関誌「河北潟総合研究」
1997年より毎年1回発行
- 河北潟湖沼研究所通信「かほくがた」
1995年第1号発行、現在は年4回発行
- 河北潟カレンダー
2000年より発行
- 書籍「河北潟レッドデータブック」
2013年3月21日発行

ご入会お待ちしております

河北潟湖沼研究所一般会員

年会費 個人会員:12,000円
法人会員:24,000円

会員になることにより、河北潟湖沼研究所の研究員として登録されます。機関誌「河北潟総合研究」などが配布されるほか、さまざまな活動や運営に携わっていただけます。

このほか、気軽に参加できる

- ・研究会(年会費3,000円)
- ・友の会(年会費2,000円)

があります。詳しくはこちらをご覧ください。

<http://kahokugata.sakura.ne.jp>

特定非営利活動法人

河北潟湖沼研究所

〒929-0342
石川県河北郡津幡町字北中条ナ9-9
電話 076-288-5803 FAX 076-255-6941
E-Mail info@kahokugata.sakura.ne.jp
U R L <http://kahokugata.sakura.ne.jp>

設立 1994年10月14日
法人化 1999年 9月 6日

役員 (2013年度・2014年度)
理事長 高橋 久
副理事長 桂木健次(富山大学名誉教授)
所長 永坂正夫(金沢星稜大学教授)
研究会会長 大串龍一(金沢大学名誉教授)
事務局長 藤木正範

NPO法人河北潟湖沼研究所 入会のご案内

地域の中で研究したい方へ
研究を活かしたい方へ

NPO法人河北潟湖沼研究所
Kahokugata Lake Institute

発行 2014年1月1日

地域とつながる・地域が見える

河北瀉湖沼研究所は、河北瀉およびその周辺地域の環境保全と地域振興のために、さまざまな実践活動をおこなっています。河北瀉地域での調査・研究結果をもとに、地域諸団体と連携した実践活動を継続しており、地域の自然環境について確かな情報を蓄積しています。そして、地域との間に強いつながりを築いています。

活動に参加することで

- ・ 地域の中の色々な人と出会えます。
- ・ 地域のことを、様々な角度から学べます。
- ・ 地域の人が困っていること、望んでいること、誇っていること、喜んでいること、色々なことが見えてきます。
- ・ 研究成果を身近な地域社会に生かす機会に出会えます。



◎外来植物除去活動

外来植物チクゴスズメノヒエの分布調査結果をもとに、地域諸団体に除去活動を提案し、実際の活動の中心となり、地域の自然環境再生の方向を提示しています。



◎ビオトープの設計、保全活動

河北瀉周辺にあり絶滅が危惧されている水辺の植物を保全するため、水辺ビオトープを設計し、河北瀉に自生する種子などを採集、植栽、保全する活動をおこなっています。



◎河北瀉レッドデータブック

河北瀉地域で絶滅の恐れのある動植物をリストアップした「河北瀉レッドリスト」を掲載するとともに、干拓事業開始から50年間の河北瀉の自然と野生生物の情報を一冊に凝縮した本です。当法人が企画し、リスト作成のための調査から本の執筆、デザインまでをおこないました。

調査・研究・交流の場

河北瀉湖沼研究所はさまざまな分野、さまざまな世代の研究者を待っています。多様な研究者の多様な視点が集まることで、地域に根ざした学際的な研究交流の場がつけられることを目指しています。河北瀉や周辺地域の自然環境、生活、文化、歴史など分野は問いません。あることについて調べてみたい、探求したいという方であれば、どなたでも歓迎します。

会員になることで

- ・ 専門分野のことなる研究者と交流や情報交換、討論ができます。
- ・ 調査研究の発表をする場ができます。
- ・ 地域の資料・情報を得やすくなり、地域での研究活動がしやすくなります。
- ・ 河北瀉湖沼研究所の研究員としてさまざまな研究に取り組んでいただけます。

活動紹介



◎河北瀉セミナー

環境問題、農業を中心とした地域振興のあり方をメインに、多方面から専門家を講師に招き、不定期で開催しているセミナーです。どなたでもご参加いただけます。



◎植生調査、生物調査

河北瀉での植生調査や水質調査、河北瀉干拓地での外来植物や野生生物の調査、河北瀉周辺地域の田んぼの生物調査など、さまざまな調査を行っています。



◎河北瀉総合研究

年1回発行している研究所機関誌です。河北瀉や地域の自然、環境、生活、文化、歴史等に関する研究成果の発表の場として、研究所会員からの投稿論文を主に構成されています。研究所会員をはじめ、県内外の主な研究機関に配布されます。

河北瀉湖沼研究所は
「研究の場」
を提供します。

大学の研究者はもちろん、
市民、企業、農家、学生…

どのような方でも

「研究したい」

という方の参加を待っています。

河北瀉湖沼研究所は地域に根ざした研究機関となることを目指し、1994年に設立されました。地域の経済的、社会的、文化的発展に資することを目的に活動しています。

わたしたちのミッション

1. 河北瀉の生物多様性を守り、地域振興につなげる。
2. 湖沼が将来を担う子供達の育成の場となるよう再生させる。(冒険の場、共同の場、文化を学ぶ場、科学の目を養う場)
3. 研究所として総合的に問題をとらえ、科学的に長期ビジョンをもって地域を導く。